

父親の出番？母親の出番？

【プログラムのねらい】

子どもの成長とともに、親の悩みは変わります。その中に父親の役割、母親の役割に関するものもあります。ここでは、子どもから見た父親、母親、さらに周囲の大人について取り上げ、子どもの成長とともに変容する親の役割や大人の支えについて学習します。

【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方 ○ことばかけ	留 意 点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介をします。 ○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。 ○自己紹介やゲームを行い、明るく活動的な雰囲気づくりをします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○明るく元気な話し方を心がけます。 ○今日のプログラムのねらいについて、ポイントをしぼりわかりやすく説明します。 ○参加者全員に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、声かけをして参加を促します。 ○次の活動にすぐに移れるようにあらかじめグルーピングをしておきます。 ○1グループ5～6人（全体の人数が少ない場合は3～4人）を目安に編成します。 ○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもの生活実態調査を見て、気付いたことをメモしましょう。 ◎グループに分かれてメモをもとに話し合しましょう。 <p>◎寂しい時や不安な時、あなたが小学生なら、誰に相談しますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○気付いたことを自由に書いてもらうようにします。 ○答えに「正しい」、「間違っている」ということはないので、考えたことを発表するように促します。 ○話し合う際、自分自身の小学生時代のことを思い出し、話し合うように助言します。 ○男子より女子の方が「周りが自分のことをどう思うか気になる」また「ひとりぼっちで寂しいと思うことがある」の割合が多いことを確認します。 ○父親や母親、周囲の大人の役割について考えるように助言します。 ○各グループを回り、意見交換の様子や出されている意見の内容について把握しておきます。

		<ul style="list-style-type: none"> ○時間があればプログラム集44ページの資料を使い「子どもから見た父親、母親」について考えてもらうようにします。 ○子どもは父親、母親ともに「明るく」、「やさしい」存在ととらえていることをつかんでおきます。一方、父親、母親ともに自分が子どもから見て「尊敬できる存在」としては自信がないというデータを押さえておきます。時間があれば、このデータについて意見交換をします。
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ◎今日の学習のまとめをしましょう。 ○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 (ふりかえり) ○発表してもらいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。 ○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。 ○感想を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。 ○親から見ると、子どもは成長とともに親や大人を必要としないように見えますが、いざという時に支えとなるのは親であり大人であることを話し、子どもの成長とともに、親の役割や周囲の大人の役割は変わってくることを話しまとめます。

※ 設定時間が短い場合には、ワーク2を中心に流れを考えるようにします。

